



168

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2022 10/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 映山研修センター：〒350-1315 埼玉県狭山市北入曽695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
 滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 巡回公演だより／園からの声／北海道札幌市しろいし幼稚園からのお手紙／制作だより／演育ワークショップ／ルルとロロの宝さがし 劇場公演

4面 劇場公演 すぎのこ人形劇フェスタ開催決定！／事務局だより ほか

<http://www.suginoko.org/>
[E-mail: support@suginoko.org](mailto:support@suginoko.org)

コロナ「第七波」で舞台芸術界が「存亡の危機」に直面

理事長 大場 隆志



るとしたら、すぎのこ芸術文化振興会の事業は成功しているはずで

さらに、「ファイブウェイポジショニング戦略」によると、これ

先日の朝日新聞の記事で、国内の舞台芸術界が、新型コロナウイルスの流行が始まって以来、最大とも言える危機に直面していると掲載されました。「第七波」が本格化した七月から公演中止件数が急増し、その後も終息の気配がなく、公演がキャンセルされた分の損失は、そのまま主催者にのしかかる状況で、舞台芸術界においては「存亡の危機」との声も上がっているということでした。

また、演劇の興行・制作会社や劇団など二百四十団体を超える「緊急事態舞台ネットワーク」が開いたシンポジウムでも、厳しい現状の報告が相次ぎ、七月の一カ月だけで中止された舞台は百二十八公演で六百七十六ステージであったとのことでした。

このような状況の中で、公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会としても、今後、どのようにしてこの危機を乗り越え、存続していくのかという大きな課題に立ち向かっているかなければならないと思っております。

二年以上も続く、新型コロナウイルス流行の中、日々どうしたら良いのかを苦悩し、何とかこまめに持ちこたえてまいりましたが、今後この状況が続くことを考えると、更なる改善を進めていく必要があると考えております。苦悩の日々の中で、舞台芸術界

本当にそうなのでしょか。

例えば、有名ブランドのティファニーが、激安の指輪を売り始めたり、マクドナルドが高級食材しか使わないハンバーガーを売り始めたなら、みんな混乱してしまうのではないのでしょうか。

成功している組織は、ターゲットとなる顧客を理解しているので、ターゲットとなる顧客が最も高く評価している要素に磨きをかけるように経営を行っています。

こんなことは当たり前だと思うかもしれませんが、顧客の望ましい分野で、一位を目指そうとして失敗した組織の例はとて多いようです。

あらゆる面で「ベスト」を目指すが、逆に顧客が高く評価している価値を下げる結果となることがあるということです。

顧客と事業において、以下の質問をすると、本質的な答えが見えてくると『ファイブウェイポジショニング戦略』という本の中で言っています。

○お客様の行動の理由を、本当に分かっていますか？なぜあなたのところで買ってくれてくれるのだろうか。そして、何をすると買ってくれるようになるのだろうか。

○新たな、もしくは、すでにいるライバルに仕事を奪われるとしたら、どんなときだろうか。

○お客様がひそかに強く願っているのに、あなたが今提供できていないものを、一つ上げるとしたらなんですか。

○事業に関して、どんな状況でも、変えられないことを二つあげるとしたら何ですか。

すべての問に完璧に答えを出せる

を考えると、「価格」「サービス」「アクセス」「商品」「経験価値」の五つの要素から考える必要があるということ、さらに、五つすべてを五満点にするのではなく、理想的なスコアは、五・四・三・三・三にせよ、というのが考え方の基本となると言っています。この割合はとても重要で、三は業界水準、四は差別化、五は市場支配のレベルとして考えるというものです。

このことを真剣に考え、顧客の目から事業を見て、顧客一人一人が意義を見出せるような事業を行うことができれば、必ず成功するということです。

このことを、すぎのこ芸術文化振興会の事業に置き換え、もう一度真剣に考えて舞台芸術界が直面している「存亡の危機」を乗り越えていきたいと思います。

ず、何が正しくて、どう間違えているのかも分からない状態でスタートし、諸先輩方の動きをなんとなく真似てみたりしていることが多かった気がします。今でもまだまだだと感じることは多々あり、他のメンバーに助けってもらってばかりです。

私が「おむすびころりん」の人形劇をやらせていただいたて、早いもので6カ月になりました。

私が「おむすびころりん」の人形劇をやらせていただいたて、早いもので6カ月になりました。

巡回公演だより

おむすびころりん

班

私が「おむすびころりん」の人形劇をやらせていただいたて、早いもので6カ月になりました。



お芝居はゴールがなく、常に学びの毎日で、日々の生活などにもヒントがあると思います。常に学びを絶やさず、一步一步前に進めていけるよう努力してまいりますので、今後ともすぎのこの人形劇、そして人形劇俳優ともども、末永くご愛顧賜りますように、よろしくお願いいたします。

(星野 翼)

たのきゅうのうわばみ ばみたいじ

みなさんは「わんぱく」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか？

すぎのこの「わんぱく」とは「健康で、好奇心が強く、行動力にあふれ、創意工夫のできる、心の優しい子」。「たのきゅうのうわばみたいじ」の作品には、すぎのこの「わんぱく」の要素が詰まっています。

たのきゅうは、役者になるという夢のため、病気のお母さんに会いに行くため、友達を助けるため、勇気を持って行動します。大切な



ものために行動できるたのきゅうは、子どもながらもカッコいいなと思います。

自身も「わんぱく」でありたい、子どもたちにも「わんぱく」を届けたい、そう願いながら、たのきゅうを演じていきたいと思っています。

(石山 和佳)

はだかの 王様

毎年夏が来るたび考えてしまうことがある。昨年より更に暑くなるのではないかと。今年もまた猛暑日が続いた中、今度は来年を考えてしまふ。これより更に暑くなったら耐えられるかなと。

暑い中の巡回だけでなく、暑い中の稽古もまた熱中症にならないように気を付けなければいけない。長い時間をかけて仕上げるより、短時間で集中して終わらせることが求められる。

この秋に2回予定しているすぎのこの劇場公演の稽古は、限られ

た日程で、巡回公演の作品の稽古と並行して行う必要があった。懐かしい作品をもう一度上演できるチャンスをいただきうれしい反面、それに伴う大変さもあった。それでもその日を心待ちにしてくれている子どもたちを思うと、また頑張れるので不思議なものだ。楽しみにしている子どもたちと同じく、我々もまた子どもたちに逢えるのを楽しみにしているのだ。

二つの作品とも秋にぴったりなので、秋ならではの面白さ、怖さ、悲しさ、うれしさを感じられると思う。子どもたちと一緒に大人も童心に返って、笑顔で帰ってくれることを願う。

(七海 美流歌)



もぐもぐ 劇場

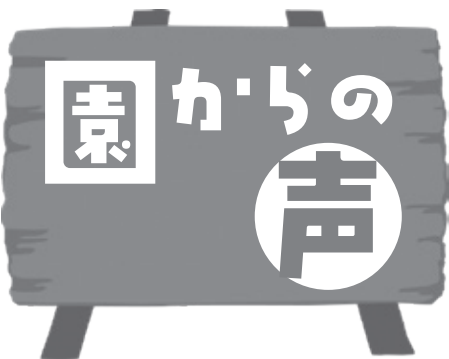
班

今年度に入り、まだまだコロナの影響もあり、もぐもぐ劇場は数回の上演しかありません。しかし、数は少なくても、子どもたちの反応はものすごく、改めて子どもたちのエネルギーを感じました。

今回上演した「ねずみの嫁入り」

(脚本・岡崎粧男 演出・美術・小澤明 音楽・横山太郎)は、なんと初演が1976年で、今から46年前に誕生した作品です。詳しい記録はありませんが、46年間、どれくらいの子どもたちに観てもらったのかと考えると、作品の力を感じます。

当時は、舞台・人形など、すべて、劇団創立者の小澤明を中心に、劇団内で製作しており、舞台上に様々なねずみの人形が出てくる仕組みや、赤ちゃんねずみが飛び出してくる仕掛けなど、いろいろ



おむすびころりん

・利尻町立啓形保育所(北海道利尻郡利尻町)

久しぶりの公演。園児がとても喜んでいて、来ていただいていたかったです。ありがとうございます。

・認定こども園 網走若葉幼稚園(北海道網走市)

演劇中の子どもたちの表情もとても良く、手を叩きながら喜んで観ていました。

劇団員さんの方の芝居(子どもたちの引き付け方や導入等)は、私たち保育者も観ていて勉強になります。

いつも、楽しいお話を用意して

アイデアを出し合いながら制作していました。当時のことが、とても懐かしく思い出されます。

人形・セットなど、新しいものにも変わっても、これからも同じく長年上演している「かもとりごんべえ」とともに、変わらずに上演していく所存です。

ご用命をお待ちしております。

(下村 あきら)



たのきゅうのうわばみ たいじ

・あけぼの保育園(福岡県)

2才児クラスは、最初のお話のみの予定でしたが、最後まで楽しく観ることができていました。

以上児の子どもたちも始めは、舞台の作りに興味を持っていたようですが、徐々にお話に引き込まれていました。ありがとうございます。

・認定こども園 聖母保育園(長崎県五島市)

今回の演目は、初めて聞くお話で、笑いがあり、また親子の愛情の場面や友との友情の声をかけ合う場面もあったり、「たのきゅう」の知恵に感心して人間味を感じたり、いつの間にか「頑張つて」と園児と一緒に応援していました。

コロナ禍の中で、人形劇を観劇させていただける機会を作ってくださり、本当にありがとうございます。

「ネコと毛糸玉」の人形劇は、ことばは無くても、ネコと毛糸の動きがとても楽しく、0・1・2才児の園児たちもじーっと観ていました。ネコの動きは本物そっくりでした。始めに明るく楽しい人

はだかの王様

・和光幼稚園(石川県)

新型コロナウイルスの流行から3年振りの観劇だったため、園児はもちろん職員も楽しみにしていました。未満児にも分かりやすく演じてもらい良かったです。コミカル&リズムミカルでGOODでした。

・児童館(新潟県新潟市)

「3びきのやぎ」くらいの長さのお話だと、幼児さんも集中して楽しめたので良かったです。「はだかの王様」は小学生がじっくり観ていました。人形とのふれあいも大変喜んでいました。

良い思い出になりました。ありがとうございます。

・湖桜保育園(新潟県)

久々の公演だったこともあり、子ども・保護者・職員が皆とても楽しみにしておりました。とくに保護者の方から「この日をずっと楽しみにしていた」とのお声がたくさんありました。

演技に迫力があり、皆さん優しくとても良かったと思います。

制作 たよも

今年は猛暑日が続き、大変な暑い夏でしたが、だんだんと過ごしやすき季節になりました。
スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋といういろいろありますが、皆様はどんな秋をお過ごしでしょうか。私は食欲の秋にしたいところです

演育ワークショップ

■7月6日、埼玉県飯能市にあるさゆり幼稚園において、演育ワークショップを実施しました。
(今年度8回実施予定)

今回の内容は、コミュニケーションをより円滑に行えるようにするために、感情を表現する力を養うための「顔の体操」。子どもたちはそれぞれ、うれしい顔・悲しい顔・怒った顔・酸っぱい顔・苦しい顔など、お互いに見せ合いながら、楽しんでいました。

次に「オノマトペ」。音を耳から感じて、すぐに身体表現に移す想像力を養うメソッドです。ウッドブロックの音を聞きながら歩き、とぼとぼ・せかせか・おろおろなどを表現してくれました。

最後は、自分の意思を伝えようとする姿勢、他者を理解しようとする姿勢を学ぶ「伝言ゲーム」。ゴリラ・だんごむし・うさぎなどのお題に、個性豊かな表現が多くあり、今までのプログラムのなかでは、一番盛り上がりしました。

すぐに効果は出なくても、ワークショップを体験する中で、少し

が、仕事柄ずっと座っていることが多いので、やはりスポーツの秋にした方がいいかもしれません。
今年のすぎのこの秋は、通常の巡回公演に加え、劇場公演を行います。劇場公演を行うのは昨年引き続きとなりますが、まだまだ慣れないことに奮闘しながら駆け抜けている日々です。経験を積みながら、これからすぎのこの作品を様々な形で皆様にお届けできるよう、邁進してまいります。

でも「伝える力」「自分を表現する力」を身に付けてくれたらと思います。

演育とは「演劇的な方法」を活用して、子どもの心と体を健やかに伸ばしていく演劇ごっこ。ゲームを楽しく繰り返し、感性力・表現力・想像力と創造力を身に付けていく教育の方法です。

すぎのこでは、演育を全国展開しております。興味を持たれた方はお問い合わせください。

(下村 明)

■7月11日、北海道の保育園で子どもたちに演育ワークショップを行いました。

お題の生き物を身体で表現するという内容です。お手本を見せず、どんな大きさ・色・状態…など、なりきる対象のイメージが膨らむように声掛けし、自分で考えて表現するよう促します。

実際にやってみると、子どもたちはどうすればいいのかわからず、隣の子を真似たり、みんな似た動きをしていた。しかし、イン

います。

演目は「三まいのおふだ」と「そっくりのくりのき」です。どちらも巡回公演で回ったことがある作品ですが、映像演出も取り入れ、また新しいものとなっております。観たことがある方もそうでない方も楽しんでいただける作品となっておりますので、ぜひ足を運んでいただき、皆様の秋の思い出の一つとしての彩りになりましたら幸いです。

(菅谷 香純)

タビュウをしてみると、それぞれ異なるイメージを話してくれて、他の子と同じ動きに見えても考えていることは違うことに気づかされました。

タンポポになりきった時、「どんなタンポポになりましたか？」という質問に対し、「青タンポポ！」と答えた子がいました。「素敵だね」。まさにこれが演育のねらいです。自由に発想し、伝えられること、他者の意見を認め合えること、こういった力が、これから生きていく上で大事になっていきます。子どもたちの豊かな想像力や可能性の芽を摘んでしまわぬよう、関わる側は、否定的な言葉を口にしないように気をつけたいですね。

「そんなことをしたらおかしい。やめておきなさい」

私自身、意見を否定されてきた記憶の方が多く、大人になった今も、それが影響して人前で話すことが怖かったり、お芝居以外の場面で自己表現することへの苦手意識があります。だからこそ、幼少期からの受け入れてもらえたという経験の積み重ねが、とても大事だと身をもって感じています。



(長谷川 唯)

各園様にお渡ししている演育ハンドブックのプログラムを活用していただき、子どもたちが伸び伸びと自己表現する機会が増えれば幸いです。

北海道札幌市しろいし幼稚園からのお手紙

拝啓

今年も早くも半ばを過ぎてしまいましたが、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日は来園していただきありがとうございました。子どもたちは、教えていただいた手遊びを楽しんだり、おにぎりを作って遊んだり、先日の人形劇を思い出しながら過ごしています。子どもたちからののお礼としてメッセージを書いたので見ていただけたら幸いです。本当にありがとうございました。

敬具



ルルとロロの宝さがし 劇場公演

7月24日、暑い陽射しと元気いっぱいセミたちの大合唱が響く中、静岡県袋井市で人形劇「ルルとロロの宝さがし」の公演がありました。

今回はソングブックカフェの鈴木翼さんとガーガーズのみなさんのライブとコラボさせていただき、お客さまと一体になる、楽しく、明るく、ホッとする空間を皆さんと共有することができました。

演者も客席も、「楽しむぞー！」という雰囲気包まれ、ちらりとのぞくみんなの顔の、なんと晴れやかなこと！心がキュンと高鳴りました。

子どもたち一人一人、成長するスピードはみんなそれぞれ。でもその一人一人の小さな胸の中が、たくさんの「楽しい」や「うれしい」であふれてくれたらうれしいなあと、みんなの笑顔を見ながら思うのです。

ルルとロロが最後に見つける宝物も、みんながこれから集めていく宝物も、これからの毎日の中に隠れています。ぜひまた遊びにきてくださいね。

(吉田 薫)



©BANDAI/LLP

劇場公演

すぎのこ人形劇フェスタ 開催決定！

ARTS for the future ▶ 2

劇団すぎのこが劇場公演を行います！

10月6日上野・飛行船シアターで、そして11月12日くにたち市民芸術小ホールで、すぎのこの人気作品「三まいのおふだ」「そっくりのくりのき」を同時上演する、人形劇を存分に楽しめる豪華な内容となっています。

いつもは園内で巡回公演として人形劇をお届けしているすぎのこですが、私たちにとっても「劇場」というのは、これまた不思議な場所です。扉を開ければ、そこは日常とはちがう特別な空間。何がはじまるのか、ドキドキとワクワク、ちょっぴり不安。そんな子どもたちの心おどる時間をお届けできればと思っています。一人一人の心に物語の灯がともりますように。

詳細はHPにて。お近くでしたらぜひ遊びに来てくださいね。

公演概要

公演日時

■2022年10月6日(木)

開演10:40/18:00

飛行船シアター(東京都台東区)

■11月12日(土)

開演11:00/13:30

くにたち市民芸術小ホール(東京都国立市)

上演作品

「三まいのおふだ」・「そっくりのくりのき」(原作やなせたかし)

チケット料金 全席指定

前売券1,700円/当日券2,000円

チケットのお求めは、劇団すぎのこHP、または04-2968-4721までお問い合わせください。



事務局 だより

63

孺恋研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現公益財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ孺恋研修センター」があります。

この施設は緑豊かな自然に恵ま



孺恋研修センター

れ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は

原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉「湖畔の湯」やバラキ高原孺恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはバーベキューが楽しめる集会所が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

孺恋研修センターに関するお問い合わせ

E-mail: support@suginokoto.org
または03-33984-2396
(事務局)

活動記録(令和4年7月~8月)

7/6	演習ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
7/11	演習ワークショップを実施 於・北海道の保育園
7/24	劇場公演を実施 於・月見の里 学友館(静岡県袋井市)
7/28	第一学期全国巡回公演終了
8/26	第二学期全国巡回公演開始

賛助会員を 募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	団体
年額 3,000円 以上	年額 10,000円 以上
- (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	団体
年間 3日間以上 5日間以上	年間 3日間以上 5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届ける。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。